

科目名	言語文化（R4 課程）				単位数	2 単位
教材	教科書：新編 言語文化（東京書籍）				添削指導（レポート）	全 6 回
	副教材：新編 言語文化 学習書（NHK 出版）				面接指導（スクーリング）	2 時間
学習評価 （観点別評価）		添削指導	面接指導	定期試験	放送 ※希望者のみ （東京書籍インターネット講座）	減免可能 1 時間まで
	知識・技能	60%		40%		
	思考・判断・表現	60%		40%	定期試験	前期 1 回 後期 1 回
	主体的態度	80%	20%	0%		
単位の認定	①レポート：規定回数のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング：規定回数の全ての回に出席すること。 ③定期試験：前期試験、後期試験を受けること。 ④評定は、観点別評価をふまえ総合的に判断する。達成状況と評定の関係は次の通りとする。 〔～2 割：1、2 割～4 割：2、4 割～7 割：3、7 割～9 割：4、9 割～：5〕					

指導計画			
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
単元・学習内容	スクーリング回	レポート回	放送（東京書籍インターネット講座）
随筆 ・筆者の経験と分析について理解する。 ・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。	1	1	①教科書の内容に対応する動画をすべて視聴すること。 ②単元テストの問題にすべて取り組むこと。 ①②を完了した場合、面接指導（スクーリング）の出席回数を最大で 2 時間減免できる。
詩歌 ・短歌・俳句・詩それぞれの特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。		2	
小説 3 ・登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。			
古文入門 ・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 ・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 ・文語の品詞、活用について理解する。		3	
随筆、詩歌、物語 ・古文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古文特有の表現などについて理解している。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	2	4	
漢文入門 ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。		5	

・故事成語の元になった話を読むことを通して，漢文の読解に慣れ親しむ。			
漢詩論語 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，漢文特有の表現などについて理解している。 ・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り，ものの見方や考え方を豊かにする。 ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り，優れた表現に親しむ。		6	